

小樽市子ども・子育て支援事業計画における地域子ども・子育て支援事業の進捗状況【平成29年度】

11 放課後児童健全育成事業

事業概要	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業の終了後、小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊びの場及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業
事業目的 (目指すべき目標)	保護者が安心して就労などができるよう放課後の児童の安全・安心な居場所を確保し、適切な遊びや生活を通して児童の健全な育成を図ることを目指す。
実施内容 (具体的な実施方法・手段)	学校内及び勤労女性センター、塩谷児童センター内で放課後児童クラブを引き続き開設し、入会を希望する児童の受入れに努め、地域における子育て支援を実施する。

事業費(円)			平成27年度 決算	平成28年度 決算	平成29年度 予算	平成29年度 決算	平成30年度 予算	平成31年度 予算
	事業費		161,420,068	158,656,423	211,292,000	170,072,459	202,825,000	
特定財源	国庫支出金		42,462,000	48,621,000	51,984,000	60,615,000	55,925,000	
	道支出金		42,441,000	43,093,000	51,984,000	47,096,000	55,925,000	
	その他		23,543,000	25,566,000	26,688,000	26,405,000	29,292,000	
一般財源		52,974,068	41,376,423	80,636,000	35,956,459	61,683,000		

活動指標(A) (目的を達成するために実施した事業量を数値で表示)	指標名	単位	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 見込み	平成31年度 見込み
	開設数	か所	21	19	19	16	16
	開設クラブ数	クラブ	28	27	27	26	26
【特記事項】		平成30年3月入船小学校・緑小学校・最上小学校を統合し、平成30年4月山の手小学校の開校が決定。平成30年3月に天神小学校廃校。					

成果指標(B) (目的の達成度を測定できる指標を設定し数値で表示)	指標名	単位	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 見込み	平成31年度 見込み
	待機人数(年度当初)	人	0	0	0	0	0
	待機人数(年度途中)	人	3	0	3	0	0
	待機人数(年度末)	人	0	0	0	0	0
【特記事項】		3名の内訳:1年生2名、4年生1名					

(A)(B)を考慮した需要量(指標)の設定及び確保方策、実績を数値で表示	需要量(指標)		年:実利用人数				
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
★事業計画策定済み★	需要量の 見込み	低学年(人)	590	580	570	729	694
		高学年(人)	200	195	190	113	114
		計	790	775	760	842	808
	確保方策		1,007	943	875	905	905
	実績	低学年(人)	706	743	783		
		高学年(人)	81	100	116		
計		787	843	899	0	0	

【事業評価】				
A:事業目標を達成し、結果が得られた。今後の水準を維持する。 B:事業目標をある程度達成したが、今後の改善・検討を要する。				
C:事業目標を達成したとは言えず、現状について大きな課題がある。				
事業実施者による事業評価	A	A	A	
小樽市子ども・子育て会議における事業評価	A	A	A	

<確保方策>  
事業計画から抜粋  
放課後児童クラブでは、引続き利用を希望する児童を受け入れられるよう運営するとともに、必要に応じ施設の整備、改修を行い児童の健全な育成を図ります。  
また、放課後や長期休暇中に小学校の余裕教室を活用して、子どもに学習や体育活動などの機会を提供する「放課後子供教室」の開設について、放課後児童クラブとの一体的な展開を目指し、その基本となる「放課後子ども総合プラン」の策定についての研究を行います。

◆平成29年度の事業評価(達成度の評価・成果・課題等)  
平成29年度は平成28年度同様、小学校17か所と勤労女性センター及び塩谷児童センターの計19か所で開設し、児童の安全・安心な居場所の確保に努めた。実績としては、低学年が量の見込みより多く、高学年が少なかった。勤労女性センターにおいては、定員よりも多く入会申込みがあったため年度当初定員超過で受入れた。その後年度途中で申込みのあった3人が一時待機となったが、9月に学童学習室を移設し定員増を図り全員受入れすることができたことから、当該年度における目標は達成したと考える。なお、新年度に向け、入会児童の増に対応するため学童学習室の一部拡張を行った。  
また全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる居場所を確保するため、国が「放課後子ども総合プラン」により示した、「放課後児童クラブ及び放課後子供教室」の検討の場である運営委員会の設置について他市の状況の確認を行った。

◆平成30年度の目標(上記の事業評価を踏まえた、対処方法など)  
引き続き適切に運営し、児童の安全・安心な居場所の確保に努めるほか、放課後児童支援員の知識・技能の習得に必要な研修を受講してもらい、支援員の資質向上にも努めていく。  
「放課後子ども総合プラン」の実施については、他市の状況を踏まえ、運営委員会の設置や本市の実情に応じた「放課後子供教室」の開設に向けて、庁内で具体的な連携についての検討を進める必要がある。